

# DVグリップ対応型DVストッパーの開発

## 背景と目的

電柱から電気使用場所まで架線する低圧引込線（以下「DV線」という）は、東北電力管内で約550万口の設備数となっております。

図1は太物DV線の作業の様子であり、当社管内で、年間約27万口の新設・張り替え工事が日々各所で行われております。

太物DV線工事は、細物DV線工事に比べ、柱上での高度な作業が必要であり、作業量が増加する傾向にありました。

このため、誰でも安全かつ容易に短時間で作業ができるよう工具の開発を行いました。（図2、3）

## 開発の概要

今回の開発では、①作業員の習熟レベルに左右されることなく、誰でも容易に取り扱える構造、②作業時間の大幅な短縮、③施行の安全確保を目的に、これまで現場作業で蓄積してきた知見や様々なノウハウをベースに、従来の工具・工法における作業の課題・問題点を洗い出し、営業所の現場技術開発により実現したものです。

## 導入による効果

開発した工具を活用することにより、作業の難易度が高いとされていた太物DV線工事について、習熟度に左右されることなく、安全に施行することが可能となりました。

また、従来の工法と比較して、作業時間が約3分の1となり、作業時間を大幅に短縮することに成功しました。

開発した工具については、平成25年度に当社全事業所に導入を完了しております。

### 受賞

- ・第58回 澁澤賞<日本電気協会>
- ・東北電気関係事業功績・功労者表彰 特別功績賞<日本電気協会東北支部>

### 特許

- ・特許登録済

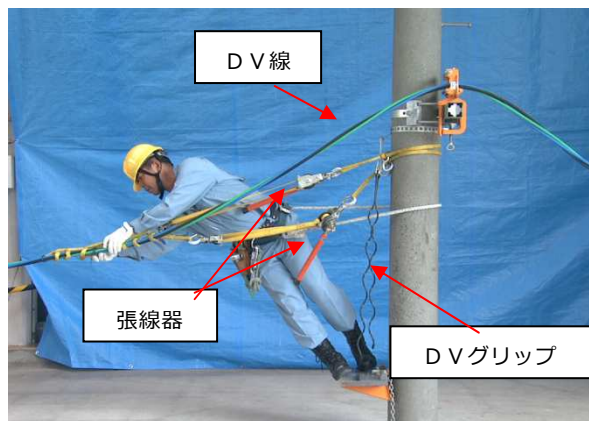


図1 従来工法の様子

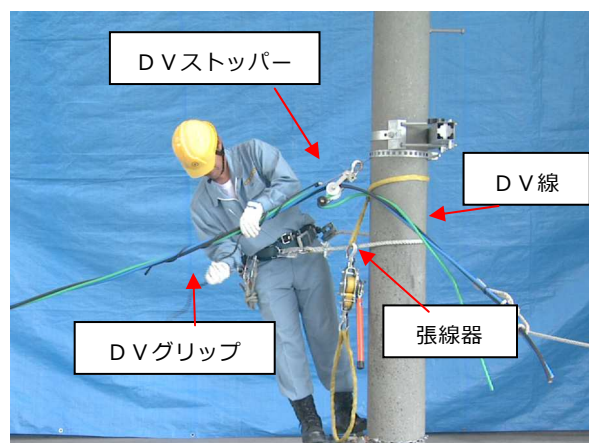


図2 DVストッパーを使用した工法



図3 DVストッパー

担当：配電部